

未成年の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究

研究代表者 大井田隆(日本大学・医・公衆衛生)

研究分担者 簗輪眞澄、鈴木健二、樋口進、兼板佳孝、神田秀幸、尾崎米厚

研究協力者 池田真紀

要旨

わが国の中高生の喫煙・飲酒の実態と関連要因を明らかにし、対策の評価と推進方策を検討する。健康日本 21 の最終評価の評価指標を提出することを目的に 2008, 2010 年 10 月に調査を実施したので喫煙状況を中心に報告する。

平成 20 年度および平成 22 年度の厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業）：未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究（研究代表者 大井田隆（日本大学医学部公衆衛生学分野 教授）の「未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究」より報告する。

【目的】

わが国の中高生の喫煙及び飲酒行動の実態と関連要因を明らかにし、対策の評価と推進方策を検討する。健康日本 21 の最終評価の評価指標を提出する。そのために、喫煙及び飲酒行動に関連する環境要因調査、喫煙及び飲酒を取り巻く新たな問題の調査を実施する。

【対象と方法】

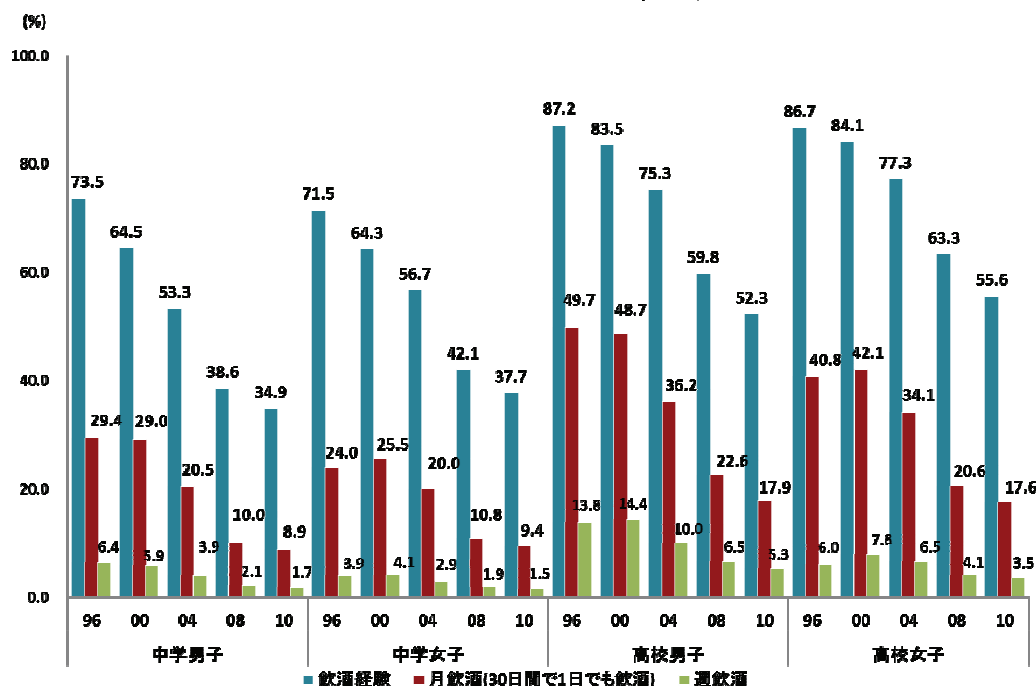
全国学校総覧を用いて全国の中学校より 131 校、高等学校より 113 校を無作為抽出し、対象校に調査票を送付した。調査内容(2008 年、2010 年)は、喫煙・飲酒行動、ニコチン依存度、喫煙・飲酒行動の要因などで両年とも同じ調査項目であった。2008 年および 2010 年調査は 9 月に対象校の抽出し、10 月初旬、調査の依頼、調査票送付をした。2010 年の対象中学校の 131 校、高等学校 113 校のうち調査に 2011 年 3 月末までに回答し、入力した中学校は 89 校（68%）、高等学校は 81 校（72%）であり、計 98,867 名の回答があった。

年度		全学校数	抽出数	回答数	協力率(%)	回答生徒数
1996	中学	11,194	122	80	66	42,798
	高校	5,330	109	73	67	73,016
2000	中学	11,153	132	99	75	47,246
	高校	5,315	102	77	76	59,051
2004	中学	11,060	131	92	70	39,385
	高校	5,193	109	87	80	63,066
2008	中学	10,882	130	92	71	40,151
	高校	5,115	110	80	73	55,529
2010	中学	10,785	131	89	68	38,552
	高校	4,991	113	81	72	60,315

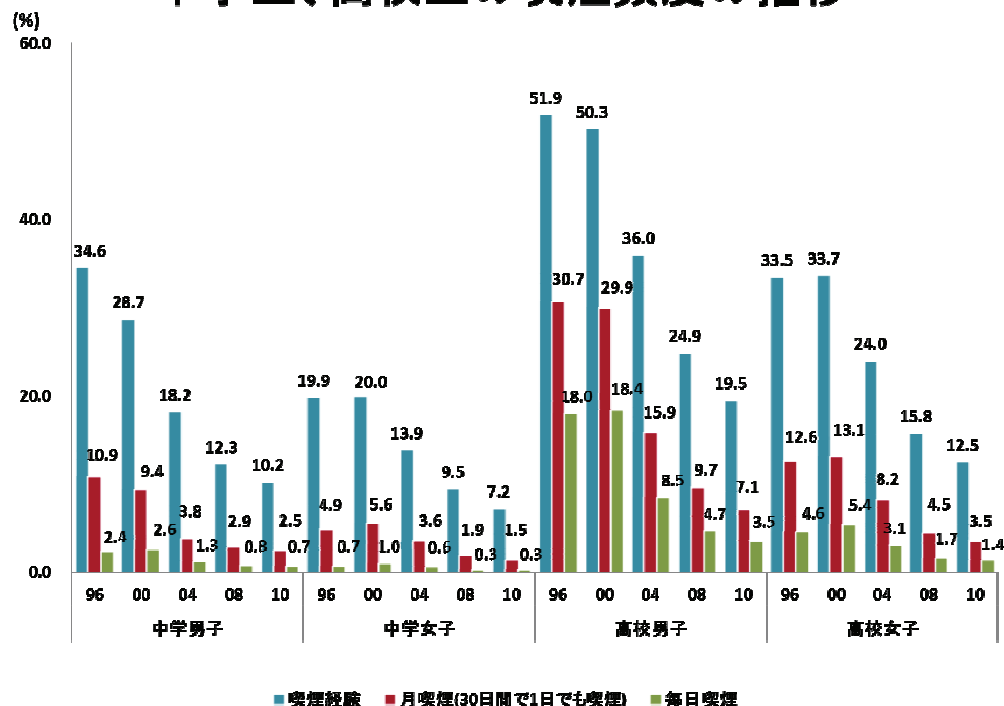
【調査結果】

中高生の喫煙率（経験率、現在喫煙率、毎日喫煙率）は男女とも調査のたびに、概ね減少してきた。また、飲酒率（経験率、月飲酒率、週飲酒率）も男女とも調査のたびに、概ね減少してきた。

中学生、高校生の飲酒頻度の推移

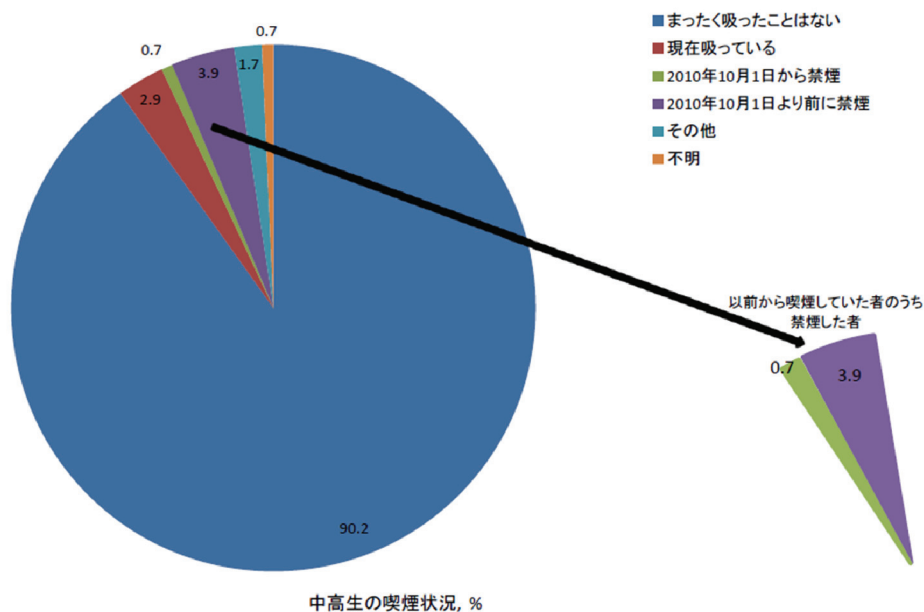


中学生、高校生の喫煙頻度の推移

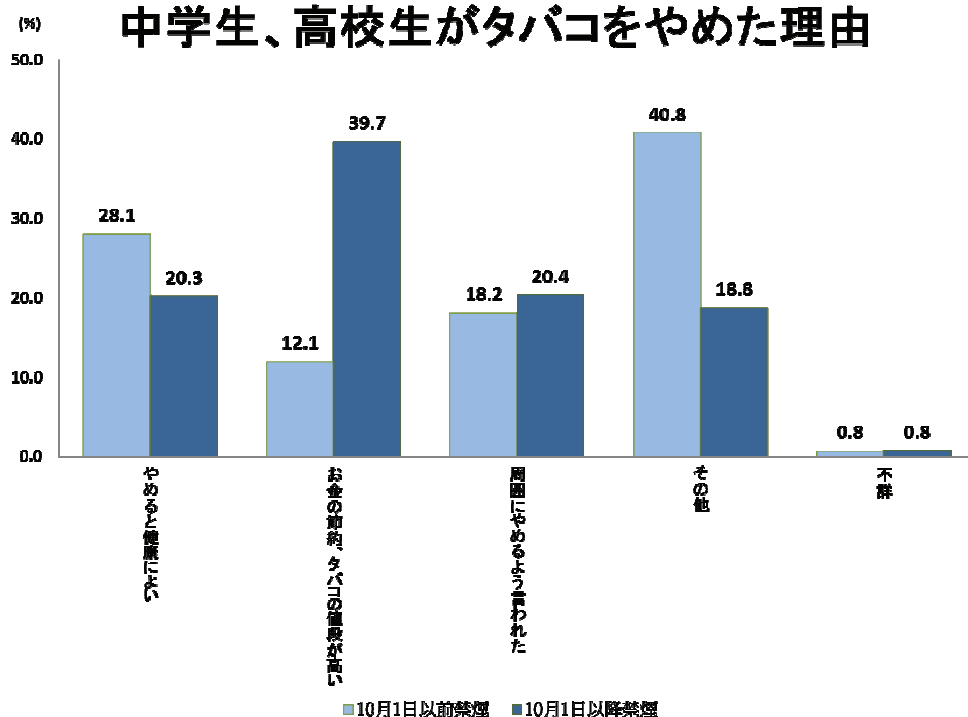


以前は喫煙していたが禁煙した率と禁煙した理由：今回の調査で禁煙した率は全体の 4.6%であるが、2010 年 10 月 1 日（タバコの値段が上がる）より以前に禁煙した人の比率 3.9%、10 月 1 日以降に禁煙した人 0.7%であった。タバコをやめた理由「お金の節約、タバコの値段が高い」と回答した比率はその 2 群間では 10 月 1 日以降群では 39.7%と 10 月 1 日以前群 12.1%に比べて高かった。

中学生、高校生の喫煙状況

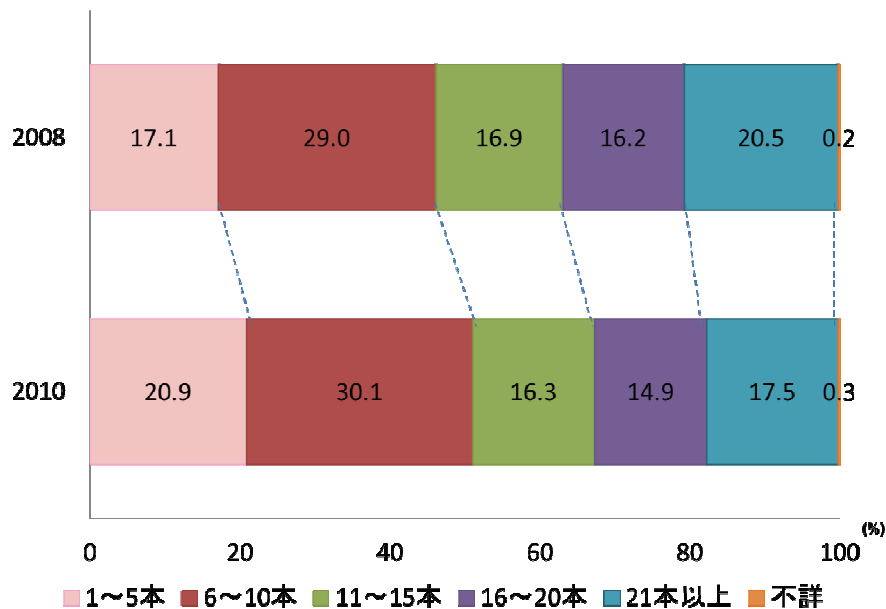


中学生、高校生成がタバコをやめた理由



毎日喫煙者の1日平均本数：2008年と2010年の毎日喫煙者の1日の平均喫煙本数は21本以上が20.5%から17.5%に、反対に1-5本では17.1%が20.9%になった。2008年と2010年では統計学的に有意に差が認められる。

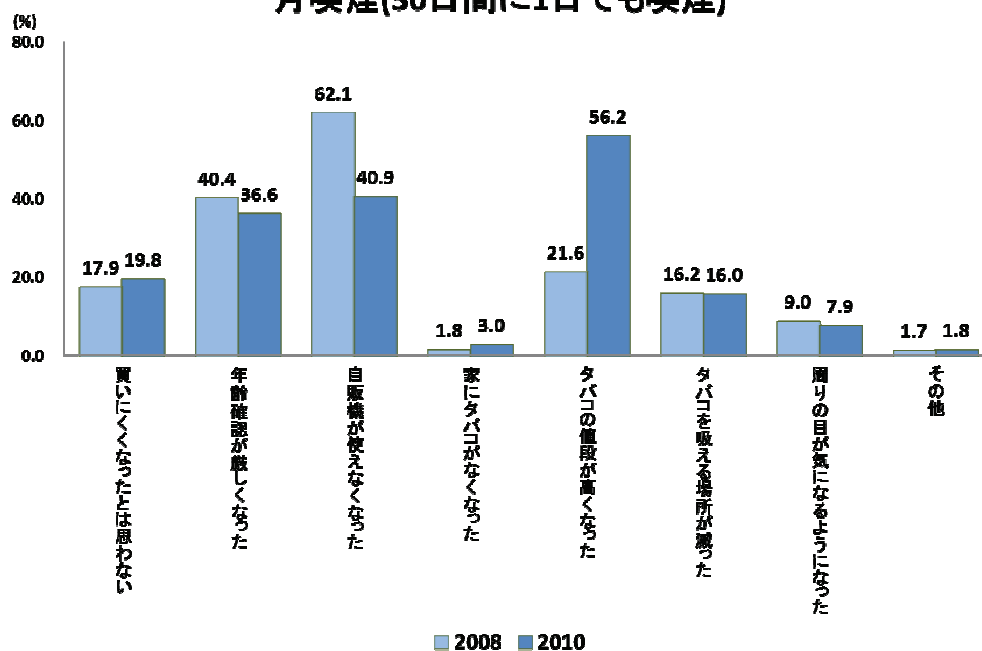
毎日喫煙者の1日平均喫煙本数



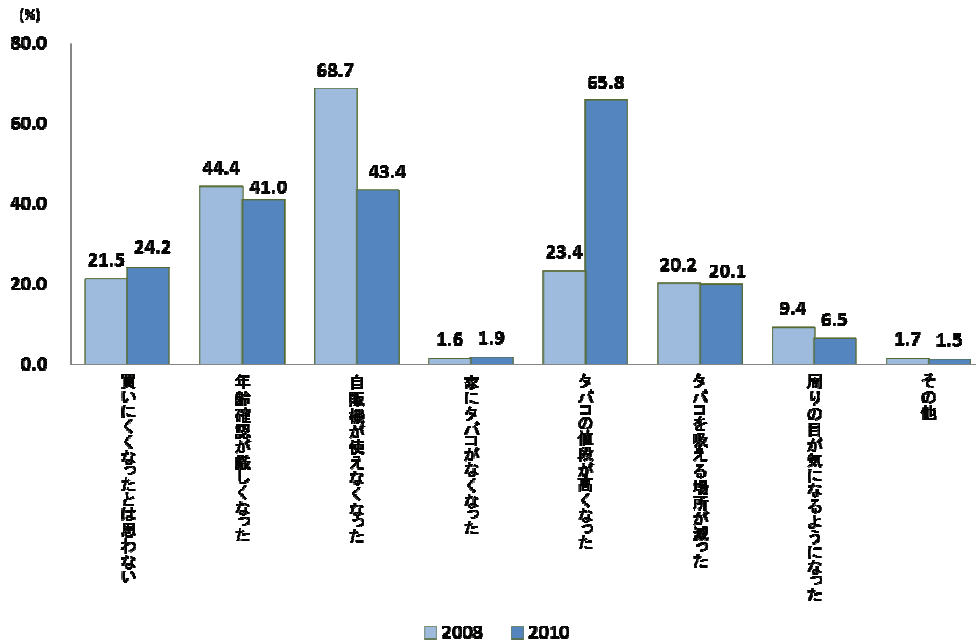
タバコが買いにくくなった理由：月喫煙者でタバコを買いにくくなった理由として「タバコの値段が高くなった」と回答した人が2008年：21.6%、2010年：56.2%であり、同様に毎日喫煙では2008年：23.4%、2010年：65.8%とタバコの値上げによる影響が考えられる。

タバコが買いにくくなった理由

月喫煙(30日間に1日でも喫煙)



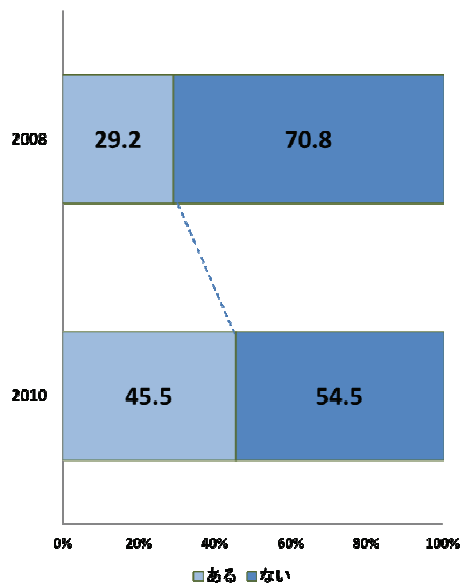
タバコが買いにくくなった理由 毎日喫煙



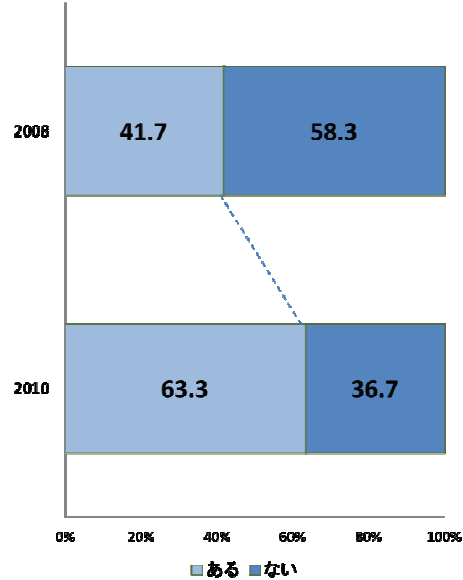
タスポを使ったタバコの入手: 月喫煙でタスポを使ってタバコを入手した人が 2008 年: 29.2%、2010 年: 45.5%となり、同様に毎日喫煙では 2008 年: 41.7%、2010 年 63.3%になった。タスポを使ったタバコの購入方法であるが月喫煙、毎日喫煙とも「家族以外から借りた」比率が高く、いずれの理由も 2010 年の方が 2008 年よりも高かった。未成年者の喫煙防止対策の一環として、2008 年 7 月より「taspo (タスポ)」対応の「IC カード方式成人識別たばこ自動販売機」を全国で稼働開始したが、その効果が薄くなっていると考えられる。

タスポを使ったタバコの入手

月喫煙
(30日間に1日でも喫煙)

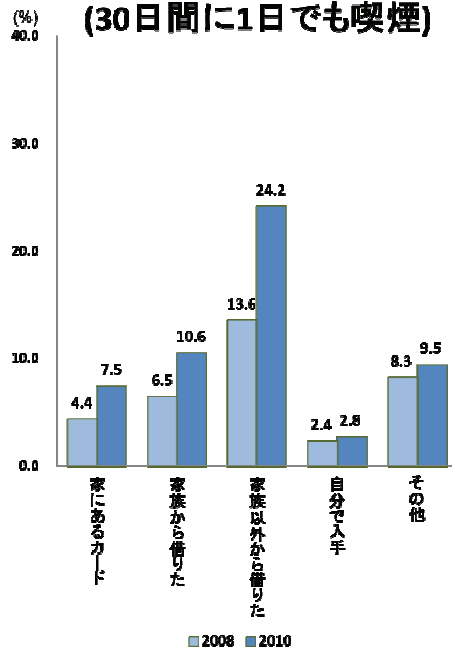


毎日喫煙

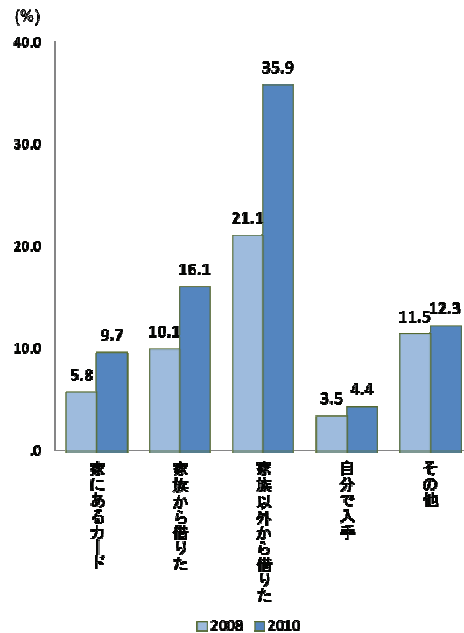


タスポを使ったタバコ購入方法

月喫煙
(30日間に1日でも喫煙)

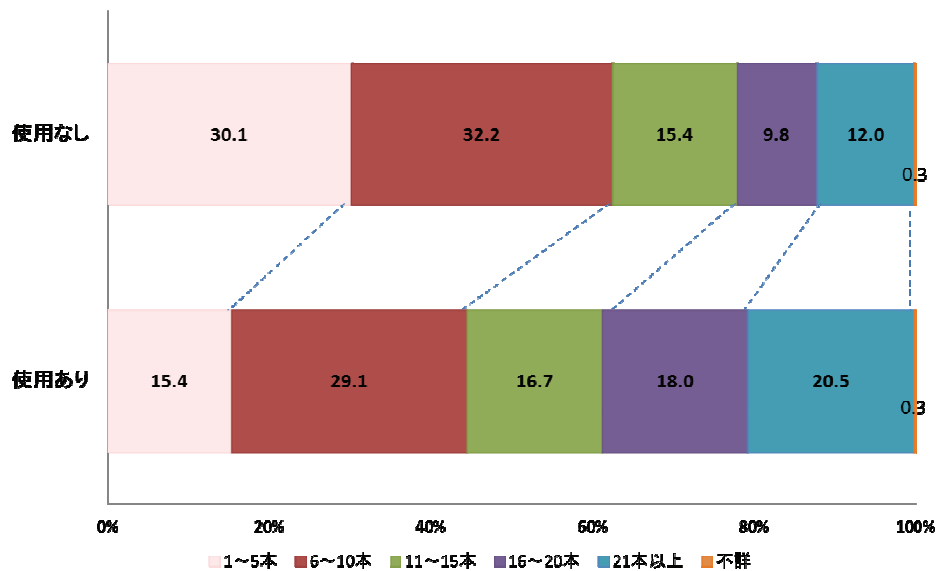


毎日喫煙



毎日喫煙者におけるタスポの使用有無と1日平均喫煙本数：2010年調査において、毎日喫煙者のタスポ使用の有無別の1日の平均喫煙本数を見ると、1日の本数とタスポ使用には関連性があると考えられる。

毎日喫煙者における タスポの使用有無と1日の平均喫煙本数



【結論】

2008年、2010年の調査によって、2010年10月のタバコの値上げが中高生の喫煙行動を抑制する方向に影響を及ぼしたことが推測された。しかし、2008年7月より未成年者の喫煙防止対策の一環として導入されたタスポがその機能を失いつつあることが示唆された。